

京都大学シンポジウム シリーズ『大震災後を考える』 -安全・安心な輝ける国づくりを目指して-

	開催日時、場所	主催	タイトル	プログラム	その他
1	平成23年7月14日(木) 15:00-17:30 京都大学東京オフィス (品川インターシティA棟27階)	主催: 京都大学産官学連携本部、一般財団法人バイオインダストリー協会(JBA) 協賛: 日本生物工学会、(株)化学同人、環境バイオテクノロジー学会、日本農芸化学会、日本化学会、日本土壌学会(予定)	シリーズ I 『大震災後の放射性物質除去を考える』 「京都大学発・新技術セミナーシリーズ『土壌からの放射性物質の洗浄除去と植物への影響』」	15:00～15:10 主催者挨拶 京都大学理事・副学長 塩田 浩平 15:10～15:20 京都大学のサイエンスの世界と社会貢献 京都大学副理事・産官学連携本部長 牧野 圭祐 15:20～15:50 フロテーション法による放射性廃液の高速処理技術 京都大学物質-細胞統合システム拠点准教授 古屋仲 秀樹 15:50～16:30 放射性セシウムの土壌浸透及び土壌から植物への移行 京都大学原子炉実験所准教授 高橋 知之 16:30～17:10 無機系吸着剤と凝集沈殿剤による放射性物質汚染土壌の洗浄 京都大学大学院農学研究科准教授 豊原 治彦 17:10～17:30 共同研究から得た新技術放射性物質汚染土壌洗浄工法の具現化への取組 アース株式会社代表取締役 佐藤 敦政	定員: 120名 対象: 一般不可 申込方法: 事前登録制(定員に達したため、締め切りました) 参加料: 無料 問い合わせ先: バイオインダストリー協会 先端技術・開発部 担当: 穴澤、矢田 TEL: 03-5541-2731 FAX: 03-5541-2737 参考HP: http://www.jba.or.jp/top/2011/0714_yorinuki_kyoto.html その他: 定員に達したため、締め切りました
2	平成23年8月4日(木) 15:00-18:30 京都大学東京オフィス (品川インターシティA棟27階)	主催: 京都大学産官学連携本部、一般財団法人バイオインダストリー協会(JBA) 協賛: 日本生物工学会(予定)、(株)化学同人(予定)、環境バイオテクノロジー学会(予定)、日本化学会(予定)	シリーズ II 『大震災後の放射性物質除去を考える』 「京都大学発・新技術セミナー『土壌・水質汚染の実態と放射性核種の高速除去』」	15:00～15:10 主催者挨拶 15:10～15:50 福島県下の土壌汚染の現地調査と合理的な放射性核種除染手法の検討 京都大学生存圏研究所・生存圏開発創成研究系助教 上田 義勝 15:50～16:30 土壌中におけるセシウムの挙動 京都大学地球環境学学・資源循環学(陸域生態系管理論)助教 渡邊 哲弘 16:30～16:45 休憩(コーヒーブレイク) 16:45～17:10 京都大学のサイエンスの世界と社会貢献 京都大学副理事・産官学連携本部長 牧野 圭祐 17:10～17:50 環境中放射性物質の各種吸着材を用いた収着特性 ～天然鉱物および下水処理活性汚泥を中心として～ 京都大学原子炉実験所・放射性廃棄物安全管理工学研究分野助教 塩谷 哲 17:50～18:30 産官学連携による放射線蛍光プラスチックの開発 ～安価で高性能な探知機から癌診断装置まで 京都大学原子炉実験所・原子力基礎科学研究本部放射線管理分野・助教 中村 秀仁	定員: 120名 対象: 一般 申込方法: https://sec02.alphamail.net/jba.or.jp/H110804yorinukikyoto2.htm より申し込み (お申し込み多数の場合はJBA 会員優先) 参加料: 無料 問い合わせ先: バイオインダストリー協会 先端技術・開発部 担当: 穴澤、矢田 TEL: 03-5541-2731 FAX: 03-5541-2737 参考HP: http://www.jba.or.jp/top/pdf/11/1100804yorinukikyoto3.pdf
3	平成23年7月15日(金) 13:30-16:30 京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール	主催: 京都大学 共催: RU11(北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、早稲田大学、慶応義塾大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学)の連合体	シリーズ II 『留学生への大震災情報を考える』 「The Role of Universities in the Aftermath of the Great East Japan Earthquake -Avoiding Misinformation and Misunderstanding in Academic Research-」	1. Current Status of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plants Accidents Prof. Jun Sugimoto (Graduate School of Engineering, Kyoto University) 2. Cellular Response to Radiation Prof. Tomohiro Matsumoto (Radiation Biology Center, Kyoto University) 3. BNCT(Boron Neutron Capture Therapy) as the Most Advanced Tool for Cancer Treatment Prof. Koji Ono(Research Reactor Institute, Kyoto University) 4. Preparedness for Earthquakes in the Chubu-Kinki Region Prof. Koshun Yamaoka (Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University)	定員: 500名 申込方法: 事前申込不要 参加料: 無料 問い合わせ先: 京都大学研究国際部研究推進課総務掛 TEL: 075-753-2041 E-Mail: kensui.soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp 参考HP: http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news4/2011/110715_1.htm その他: 留学生対象、全て英語で行われます

京都大学シンポジウム シリーズ『大震災後を考える』 -安全・安心な輝ける国づくりを目指して-

	開催日時、場所	主催	タイトル	プログラム	その他
4	平成23年7月16日(土) 13:00-18:00 京都公会館会議場	主催: 京都大学フィールド科学教育研究センター 助成: 財団法人 日本財団	シリーズ III 『大震災後の森里海の連環を考える』 京都大学フィールド科学教育研究センター 東北地域連携講座「森里海連環と沿岸管理～東北沿岸の復興をどう進めるか～」	13:00～13:10 開会挨拶 京都大学フィールド科学教育研究センター長 柴田 昌三 13:10～13:35 2011年東北地方太平洋沖大地震 国際高等研究所長・前京都大学総長 尾池 和夫 13:35～14:00 漁業復興へ向けての取り組み 独立行政法人 水産総合研究センター 本部研究推進部長 高柳 和史 復興に向けた災害がれきとの闘い(現地からの報告) 京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター 助教 浅利 美鈴 14:00～14:25 休憩 14:25～14:45 森里海連環と「森は海の恋人」運動の復興(現地からの報告) 京都大学フィールド科学教育研究センター 社会連携教授 NPO「森は海の恋人」代表 畠山 重篤 14:45～15:45 討論 国際高等研究所 教授 田中 克、京都大学フィールド科学教育研究センター 教授 吉岡 崇仁、尾池 和夫、高柳 和史、畠山 重篤、浅利 美鈴 15:45～17:45 閉会挨拶 京都大学フィールド科学教育研究センター 副センター長 山下 洋	定員: 300名 申込方法: 事前申込不要 参加料: 無料 問い合わせ先: 京都大学フィールド科学教育研究センター 海域陸域統合管理学研究部門 TEL: 075-753-2263または075-753-6425 E-Mail: icm@kais.kyoto-u.ac.jp 参考HP: http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news4/2011/110716_1.htm
5	平成23年7月20日(水) 13:00-17:00 京都大学稲盛財団記念館3階 大会議室	主催: 京都大学こころの未来研究センター 被害日本大震災関連プロジェクト～こころの再生にむけて～	シリーズ IV 『大震災後の「心のケア」を考える』 「災害と宗教と『心のケア』～東日本大震災 現場からの報告と討議」	第一部: 13:00～15:00 1. 趣旨説明と司会 京都大学こころの未来研究センター教授 鎌田 東二 2. 基調報告(各30分): 『宗教者災害支援連絡会・情報交換会』の活動と課題 東京大学教授 島田 進 福島県での被災状況と被災地支援の現状および復興構想会議の報告 福島県三春町僧侶・作家 玄侑 宗久 3. 事例報告(各20分): 『宗教者災害支援ネットワーク』の活動と課題 大阪大学准教授 稲場圭信 新宗教の災害支援活動の事例と課題 天理大学教授 金子 昭 第二部: 15:15～17:00 討議 指定討論者: 京都大学こころの未来研究センター教授 河合 俊雄 京都大学こころの未来研究センター准教授 内田 由紀子	定員: 180名 申込方法: 事前申込不要 参加料: 無料 参考HP: http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/event/2011/06/new_37.html
6	平成23年7月23日(土) 13:30-17:00 京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール	主催: 京都大学大学院工学研究科、大学院医学研究科 安寧の都市ユニット	シリーズ V 『大震災後の「安寧の都市」を考える』 第2回安寧の都市ユニットシンポジウム 「災害と環境から安寧の都市を構想する」	第1部 震災から都市の復興を考える(13:30～14:45) 司会: 京都大学大学院工学研究科教授 谷口 栄一 京都大学安寧の都市ユニット特定准教授 三谷 智子 報告1: ハード・ソフトによる防災と減災の適応範囲 一東日本大震災の事例から一 京都大学大学院工学研究科教授 清野 純史 報告2: 行政の視点から見た被災地対応 安寧の都市ユニット第1期履修生/京都府庁 古橋 勝也 第2部 環境から都市の安寧を考える(15:00～17:00) 司会: 京都大学大学院医学研究科教授 野本 慎一 京都大学安寧の都市ユニット特定教授 土井 勉 講演1: 日本が生活の豊かさを築くラストチャンス—クオリティストック&スマートシュリンク— 名古屋大学大学院工学研究科教授 林 良嗣 講演2: きらめく安寧の都市よ 元八日市市長、元衆議院議員 武村 正義	定員: 500名 申込方法: 安寧の都市ユニット 公開セミナー係 an-nei@ulc.kyoto-u.ac.jpまでメールにて申し込み 参加料: 無料 問い合わせ先: 京都大学 安寧の都市ユニット 公開セミナー係 TEL: 075-383-2829 E-Mail: an-nei@ulc.kyoto-u.ac.jp 参考HP: http://www.ulc.kyoto-u.ac.jp/

京都大学シンポジウム シリーズ『大震災後を考える』 -安全・安心な輝ける国づくりを目指して-

	開催日時、場所	主催	タイトル	プログラム	その他
7	平成23年7月23日(土) 13:30-16:30 京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホールIII	主催: 京都大学大学院地球環境学堂 共催: 京都大学グローバルCOEプログラム 「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」	シリーズ VI 『地球環境学から大震災後を考える』 第10回 京都大学地球環境フォーラム ～地球環境学と東日本大震災の復興～	総合司会: 京都大学大学院地球環境学堂准教授 小畑 史子 13:30～13:40 開会の挨拶 京都大学大学院地球環境学堂長 小林 慎太郎 13:40～14:10 震災復興と環境エネルギー政策 京都大学大学院地球環境学堂教授 植田 和弘 14:10～14:40 東日本大震災からの復旧・復興と環境衛生工学 京都大学大学院工学研究科特定准教授 平山 修久 14:40～14:50 休憩 14:50～15:20 地盤と環境の視点からみた大震災 京都大学大学院地球環境学堂教授 勝見 武 15:20～15:50 東日本大震災の特徴とこれからの津波防災・減災 人と防災未来センター主任研究員 奥村 与志弘 15:50～16:20 総合討論 司会: 京都大学大学院地球環境学堂准教授 越後 信哉 16:20～16:30 閉会の挨拶 京都大学三才学林長・大学院工学研究科教授 前 一廣	定員: 100名 申込方法: 「第10回地球環境フォーラム申込」と明記の上、ご氏名、ご所属(差し支えなければ)を事前にメールまたはファックスにて申し込み 参加料: 無料 問い合わせ先: 京都大学地球環境フォーラム事務局 FAX: 075-753-9187 E-Mail: forumsanka@ges.kyoto-u.ac.jp 参考HP: http://www.ges.kyoto-u.ac.jp/cyp/modules/news/index.php?topic_id=666
8	平成23年7月26日(火) 13:00-14:45 京都大学宇治キャンパス 防災研究所連携研究棟ホール	主催: 京都大学防災研究所	シリーズ VII 『大地震・津波を考えるーその1』 「-東日本大震災に関する防災研究所緊急調査報告会-」	13:00～13:05 挨拶 京都大学防災研究所副所長 橋本 学 13:05～13:35 今後の津波研究 間瀬肇教授 13:35～13:50 地震研究の課題 岩田知孝教授 13:50～14:05 地盤研究の課題(主に都市域の斜面災害から) 釜井俊孝教授 14:05～14:20 放射能対策の課題 山敷庸亮准教授 14:20～14:35 行政・自治体対応の課題 牧紀男准教授 14:35～14:50 防災計画の課題 岡田憲夫教授	定員: 200名 申込方法: 氏名・ふりがな、職業(勤務先)[学生は学校名と学年]、電話番号を明記のうえ、メールタイトルを「東日本大震災に関する防災研究所緊急調査報告会参加申し込み」として、電子メールでお送り下さい。内容を確認後、メールで参加票をお送りしますので、当日プリントアウトしたものを受付でご提示願います。 参加料: 無料 問い合わせ先: h23-dpri-sympo1@dpri.kyoto-u.ac.jp 参考HP: http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/web_j/saigai/sympo/20110726.html
9	平成23年7月29日(金) 13:30-17:00 京都大学芝蘭会館稲盛ホール	主催: 京都大学 グローバルCOEプログラム 「地球温暖化時代のエネルギー科学拠点- CO2ゼロエミッションをめざして」	シリーズ VIII 『原発事故の教訓とこれからのエネルギーシナリオを考える』	1. 東電福島原発事故の経過、原因、教訓 -スリーマイル島及びチェルノブイリ事故との関連- 京都大学大学院工学研究科教授 杉本 純 2. 環境中での放射性物質の動態と線量評価 京都大学原子炉実験所教授 高橋 千太郎 3. 放射線の人体影響と防護: チェルノブイリの教訓を Fukushimaへ 京都大学放射線生物研究センター所長 松本 智裕 4. 将来のエネルギーシナリオ: 脱原発は可能か 京都大学大学院エネルギー科学研究科教授 石原 慶一	定員: 220名 申込方法: 事前申込不要 参加料: 無料 参考HP: http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/gcoe/symposium/SympoVIII.GCOE_1.html

京都大学シンポジウム シリーズ『大震災後を考える』 -安全・安心な輝ける国づくりを目指して-

	開催日時、場所	主催	タイトル	プログラム	その他
10	平成23年9月29日(木) 10:00~17:00 キャンパスプラザ京都 5階第1講義室	主催: 京都大学防災研究所	シリーズ IX 『大地震・津波を考えるーその2』 「ー巨大災害にどう立ち向かうかー ー想定とその限界ー」 (京都大学防災研究所平成23年度公開講座(第22回))	<p>10:00~10:05 開会の挨拶 京都大学防災研究所長 中島 正愛</p> <p>10:05~11:05 地震・津波基礎講座 実用地震学:揺れる前に地震を知らせる 京都大学防災研究所助教 山田 真澄</p> <p>11:05~12:05 地震・津波基礎講座 津波災害とリアルタイム予測 京都大学防災研究所助教 安田 誠宏</p> <p>12:05~13:20 昼休み</p> <p>13:20~14:20 東日本大震災ー立ち止まって、地震科学の来し方を考えるー 京都大学防災研究所教授 橋本 学</p> <p>14:20~15:20 都市の浸水想定ー大雨・洪水に備えるー 京都大学防災研究所准教授 川池 健司</p> <p>15:20~15:35 休憩</p> <p>15:35~16:35 大規模災害と防災計画:総合防災学の挑戦 京都大学防災研究所教授 多々納 裕一</p> <p>16:35~17:00 総合討論 司会: 京都大学防災研究所教授 矢守 克也</p> <p>17:00 ~ 閉会の挨拶</p>	<p>定員: 289名</p> <p>申込方法: 電子メールまたは往復ハガキにて、住所(連絡先)、郵便番号、氏名・ふりがな、年齢、職業(勤務先)[学生の場合は学校名及び学年]、電話番号を明記し、また、往復ハガキの場合は返信ハガキに宛名(住所、郵便番号、氏名)を記入の上、申し込んでください。受講料のお支払いは銀行振り込みでお願いいたします。領収書は発行いたしませんので、銀行振込み受領書をもって、領収書にかえさせていただきます。詳細は、返信メールまたはハガキにてお知らせいたします。当日、返信メールの印刷または返信ハガキをご持参ください。</p> <p>参加料: テキスト代として2,000円(学生は無料)</p> <p>問い合わせ先: 京都大学宇治地区事務部研究協力課 研究支援グループ TEL: 0774-38-3350 E-Mail: kokai23@dpri.kyoto-u.ac.jp</p> <p>参考HP: http://www.dpri.kyotou.ac.jp/web_j/saigai/sympo/20110929.html</p>
11	平成23年 9月13日(火) 13:30~16:15 9月14日(水) 9:30~17:30 キャンパスプラザ京都5Fホール	主催: 京都大学防災研究所自然災害研究協議会	シリーズ X 『大震災後の防災を考える』 「ー2011東日本大震災を踏まえた今後の防災についてー」 (第48回自然災害科学総合シンポジウム)	<p>9月13日(火) 13:30~13:40 開会挨拶 自然災害研究協議会議長(京都大学防災研究所教授) 寶 馨</p> <p>13:45~15:10 科学研究費補助金・特別研究促進費による突発災害調査研究平成22年度報告 および23年度速報 司会: 京都大学防災研究所教授 西上 欽也</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2011年霧島火山(新燃岳)噴火に関する総合調査 研究代表者(代理) 東京大学地震研究所教授 森田 裕一 ・2011年東北地方太平洋沖地震に関する総合調査 研究代表者 東京大学地震研究所教授 篠原 雅尚 ・2011年 突発災害報告(奄美大島豪雨災害)(予定) <p>15:10~15:15 休憩</p> <p>15:15~16:15 平成23年度京都大学防災研究所重点推進型共同研究自然災害科学に関わる研究者・ステークホルダーとの協働による総合防災学の構築に関する研究(その1) 東日本大震災からの教訓I 司会: 平石 哲也(京都大学防災研究所教授)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波の実態と破壊力(仮題) 港湾空港技術研究所上席研究官 有川 太郎 ・津波シェルターの活用の可能性(仮題) 大阪市立大学大学院工学研究科教授 重松 孝昌 <p>9月14日(水) 9:30~10:15 平成23年度京都大学防災研究所重点推進型共同研究自然災害科学に関わる研究者・ステークホルダーとの協働による総合防災学の構築に関する研究(その2) 1) 東日本大震災からの教訓II 司会: 京都大学防災研究所教授 平石 哲也</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難の実態と問題点(仮題) 静岡大学総合防災センター准教授 牛山 素行 <p>10:15~12:00 2) きたるべき東海・東南海・南海地震に向けて 司会: 岐阜大学工学部社会基盤工学科准教授 能島 暢呂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸での津波・高潮対策(仮題) 徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部教授 中野 晋 ・東海・東南海・南海地震の連動発生に向けた総合防災研究 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター教授 古村 孝志 <p>13:00~15:00 3) 災害情報のこれからの役割 司会 京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授 横松 宗太</p> <ul style="list-style-type: none"> 「災害情報の歴史を顧みて」 北原 糸子(立命館大学教授) 「膨大な資料から社会現象としての災害を観るーTRNEDREADER(TR)による言語資料の解析ー」 佐藤 翔輔(東北大学大学院助教) 「災害時のデータベース構築支援技術の開発ーQRコードを活用した災害情報処理ー」 東田 光裕(日本電信電話株式会社) 「災害におけるマスメディアの役割ー“わがこと”としてどう伝えるかー」 大牟田 智佐子 ((株)毎日放送, 京都大学防災研究所非常勤講師) <p>15:00~15:10 休憩</p> <p>15:10~17:00 自然災害に関する一般講演 防衛大学校地球海洋学科教授 小林 文明</p> <p>17:00~17:30 総括および閉会あいさつ 自然災害研究協議会議長(京都大学防災研究所教授) 寶 馨</p>	<p>対象: 一般向け</p> <p>参加料: 無料</p> <p>参考HP: http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/ndic/contents.html</p>

京都大学シンポジウム シリーズ『大震災後を考える』 -安全・安心な輝ける国づくりを目指して-

	開催日時、場所	主催	タイトル	プログラム	その他
12	平成23年9月29日(木) 13:30-16:40 京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール	主催: 京都大学医学部附属病院、大学院医学研究科	シリーズ XI 『大震災後の医療・診療・感染症防止を考える』 『緊急時医療』～東日本大震災 現場からの報告と今後の医療施策	<p>司会 副病院長 坂田 隆造</p> <p>13:30～13:40 京都大学における医療支援体制 病院長 三嶋 通晃</p> <p>13:40～13:55 災害派遣医療チーム(DMAT)による支援 救急部助教 大鶴 繁</p> <p>13:55～14:10 検死医としての活動 病理診断部准教授 三上 芳喜</p> <p>14:10～14:25 東松島におけるボランティア活動から 医学部人間健康科学科4回生 石井 和樹</p> <p>14:25～14:40 福島県における「京都府心のケアチーム」の活動 デイ・ケア診療部院内講師 山崎 信幸</p> <p>14:40～14:50 質疑応答</p> <p>14:50～15:00 休憩</p> <p>15:00～15:15 宮城県石巻赤十字病院への産婦人科医師派遣に参加して 産婦人科助教 濱西 潤三</p> <p>15:15～15:30 近畿ブロック4大学における医療支援 心臓血管外科助教 村中 弘之</p> <p>15:30～15:45 被災地における感染症防止 感染制御部准教授 高倉 俊二</p> <p>15:45～16:20 特別講演「福島第一原子力発電所の事故を踏まえた今後の緊急被ばく医療」 救急部教授 小池 薫</p> <p>16:20～16:30 質疑応答</p> <p>16:30～16:40 今後の被災地への医療支援について 副病院長 坂田 隆造</p>	<p>定員: 500名</p> <p>申込方法: 事前申込不要</p> <p>参加料: 無料</p> <p>問い合わせ先: 京都大学医学部附属病院総務課総務掛 TEL: 075-751-3005</p> <p>参考HP: http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/education/info20110711.html</p>
13	平成23年9月22日(木) 13:30-17:00 京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール	主催: 京都大学経済研究所 共催: 京都大学大学院経済学研究科、京都大学大学院人間・環境学研究科	シリーズXII「復興と地域社会再生を考える」	<p>13:30-13:40 開会挨拶</p> <p>13:40-14:20 「彦根城外堀のブラック・スワン——東日本大震災と原発事故を考える——」 佐和隆光(滋賀大学学長)</p> <p>14:20-15:00 「日本の効率的エネルギーシステムの輸出」 岩田規久男(学習院大学経済学部教授)</p> <p>15:10-15:40 「“免災”構造の国に向けて」 藻谷浩介(株式会社日本政策投資銀行参事役)</p> <p>15:40-17:00 パネルディスカッション パネリスト: 岩田規久男(学習院大学経済学部教授) 中澤正彦(京都大学経済研究所先端政策分析研究センター准教授) 間宮陽介(京都大学大学院人間・環境学研究科教授) コーディネーター: 植田和弘(京都大学大学院経済学研究科教授)</p>	<p>定員: 500名(先着順)</p> <p>参加費: 無料</p> <p>申込方法: ◆ ウェブでの申込み 参加申し込みフォーム(http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/saigai-sympoXII/20110922/registration.html)からお申込ください。 ◆ ファクスでの申込み こちら(http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/saigai-sympoXII/20110922/Application-FAX.pdf)に掲載されている申込用紙を印刷してお使いください。ファクス送信用申込用紙を印刷できない場合は、冒頭に、「京都大学シンポジウム参加申込」と明記し、(1)氏名(ふりがな)、(2)所属、(3)職名(研究者のみ)、(4)連絡先のFAX番号および電話番号、受付通知をメールにて希望される方はメールアドレス(5)年齢をご記入の上、事務局FAX番号(075-753-7193)宛にご送付ください。受付後、こちらから確認のFAXをお送りします。 ◆ 往復はがきでの申込み (1)氏名(ふりがな)、(2)住所、(3)所属、(4)職名(研究者のみ)、(5)連絡先の電話番号、(6)年齢、をご記入のうえ、下記あてにご送付ください。 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学経済研究所 総務掛 申込締切: 平成23年9月16日(金) 問い合わせ先: 京都大学経済研究所 総務掛 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL: 075-753-7102・7103 FAX: 075-753-7193 Mail: soumu_kier.kyoto-u.ac.jp ※お電話でのお問い合わせは月曜～金曜、9:00～17:00にお願いいたします。</p>

京都大学シンポジウム シリーズ『大震災後を考える』 -安全・安心な輝ける国づくりを目指して-

	開催日時、場所	主催	タイトル	プログラム	その他
14	平成23年9月29日(木) 13:30-17:00 TKP品川カンファレンスセンターホール1	主催: 京都大学工学研究科 都市社会学専攻・社会基盤工学専攻 協賛・後援: 京都大学土木会	シリーズXIII 「強靱な「日本列島」を構想する ～佐伯啓思×清野純史×藤井聡×中野剛志～」	13:30～13:35 開会 13:35～14:15 「東日本大震災と文明の危機」 佐伯啓思(人間環境学研究所・教授) 14:15～14:45 「地震・津波による人的被害を最小限にするために」 清野純史(工学研究科都市社会学専攻・教授) 14:45～15:15 「列島強靱化論 ～レジリエントな国土の形成に向けて～」 藤井聡(工学研究科都市社会学専攻・教授) 15:15～15:45 「列島強靱化と国力」 中野剛志(工学研究科都市社会学専攻・准教授) 15:45～16:00 休憩 16:00～17:00 質疑応答・討議 17:00 閉会	定員: 171名 参加費: 無料 申込方法: 以下の内容を明記の上、メールまたはFAXを京都大学工学研究科都市社会学専攻藤井研究室までお送り下さい。 ・「9月29日京大シンポ参加希望」 ・氏名、所属、連絡先(E-Mail, 電話番号, FAX番号) ○メールの場合の連絡先: ichihashi@trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp ○FAXの場合の連絡先: 075-383-3236 申込締切: 平成23年9月16日(金) ※ただし、定員になり次第、締め切らせて頂きます。 問い合わせ先: 京都大学工学研究科都市社会学専攻 市橋 075-383-3241
15	平成24年2月17日(金) 13:00-17:10 京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール	主催: 京都大学情報学研究所	シリーズXIV 「災害と情報学」(第13回情報学シンポジウム)	13:00～13:10 開会の辞 中村 佳正(京都大学大学院情報学研究所 数理工学専攻/研究科長) 13:10～14:30 第1部 クライシスにおける情報 司会 畑山 満則(京都大学大学院情報学研究所 社会情報学専攻) 「Google Crisis Response」 賀沢 秀人(グーグル株式会社) 「東日本大震災におけるITSの取り組み～通行実績・道路規制情報～」 八木 浩一(特定非営利活動法人 ITS Japan) 14:30～14:45 休憩 14:45～16:05 第2部 情報の共助をめざして 司会 矢守 克也(京都大学大学院情報学研究所 社会情報学専攻) 「Join & Shareで創る情報による“自助・共助減災学”」 中神 武志(株式会社ウエザーニュース) 「東日本大震災の災害報道を振り返る～社会的リアリティの構築をめぐる～」 近藤 誠司(NHK大阪放送局(報道部)) 16:05～16:15 休憩 16:15～17:00 パネルディスカッション 災害情報の新しいかたち 司会 矢守 克也(京都大学大学院情報学研究所 社会情報学専攻) パネラー 賀沢 秀人、八木 浩一、中神 武志、近藤 誠司、畑山 満則 17:00～17:10 閉会の辞 吉川 正俊(京都大学大学院情報学研究所 社会情報学専攻/情報学シンポジウム実行委員長)	定員: 500名 申込方法: シンポジウム参加申し込みは京都大学ICTイノベーション2012のページからお申し込みください。 (懇親会への申し込みもICTイノベーション2012 Webサイトより申し込みください。) http://ict-nw.i.kyoto-u.ac.jp/ict-innovation/2012/entry_form.php 参加料: 無料(ただし懇親会は有料) 問い合わせ先: 京都大学大学院 情報学研究所 情報学シンポジウム実行委員会 E-mail symposium2012@i.kyoto-u.ac.jp TEL 075-753-5885 参考HP: http://www.i.kyoto-u.ac.jp/Symposium/2012/index.html
16	平成23年10月15日(土) 13:30- 京都リサーチパーク 東地区1号館4階 サイエンスホール	主催: 京都大学経営管理大学院 後援: 社団法人 京都ビジネスリサーチセンター	シリーズXV 「東日本大震災地域事業継続に向けて」	開会のあいさつ 京都大学経営管理大学院長 小林 潔司 13:40～14:10 「中山間地域の知恵を復興に生かす」 京都大学経営管理大学院客員教授/元内閣府参事官 高村 義晴 14:10～14:40 「日本から世界に向けての発信」 JICA アジア開発銀行 光橋 尚司 14:40～15:10 「アジアからみる日本の地域復興」 15:30～17:30 パネルディスカッション: 「被災地域の事業再生・継続に向けて」 コーディネーター: 京都大学経営管理大学院教授 若林 靖永 パネリスト: インターリスク総研 本田 茂樹 日建設計総合研究所/京都大学特別教授 石原克司 フューチャーアーキテクト(株)シニアフェロー/京都大学特別教授 碓井 誠 京都大学経営管理大学院教授 小林 潔司 閉会のあいさつ 京都大学経営管理大学院教授 若林 靖永	定員: 200名 対象: 一般向け 申込方法: 件名に「東日本大震災シンポジウム」と明記し、①氏名(フリガナ)、②メールアドレス、③連絡先、④職業(勤務先)【学生は学校名と学年】を記入の上、10月10日(月・祝)までに uketsuke@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp へメールでお申し込み下さい。 参加料: 無料 問い合わせ先: 京都大学経営管理企画室 TEL: 075-753-3535

京都大学シンポジウム シリーズ『大震災後を考える』 -安全・安心な輝ける国づくりを目指して-

	開催日時、場所	主催	タイトル	プログラム	その他
17	平成23年10月26日(水) 15時00分 京都大学北部総合教育研究棟1階 益川ホール	主催: 京都大学理学部、財団法人湯川記念財団	シリーズXVI 玉城嘉十郎教授記念公開学術講演会(第50回)	「2011年東北地方太平洋沖超巨大地震(Mw9.0)が我々に伝えること」 京都大学大学院理学研究科 平原和朗 教授 「地層に記録された巨大津波の警告」 産業技術総合研究所 岡村行信 活断層・地震研究センター長	申込方法: 事前申込不要 参加料: 無料 問い合わせ先: 京都大学大学院理学研究科 総務掛 TEL: 075-753-3600 FAX: 075-753-3645 E-Mail: somu@office.sci.kyoto-u.ac.jp
18	平成23年11月22日(火) 9:30-17:30 キャンパスプラザ京都 5階第1講義室	主催: 京都大学グローバルCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」 共催: 京都大学防災研究所	シリーズXVII 社会の安全と人間安全保障の新しいパラダイムを考える -東日本大震災の教訓から-	9:30-9:45 開会の挨拶 中島 正愛(京都大学防災研究所長 教授) 主催者挨拶: 松岡 譲(京都大学グローバルCOEプログラム「人間安全保障工学拠点」拠点リーダー・京都大学大学院 教授) 第1部 研究報告「東日本大震災からの教訓」 9:45-10:15 「TBA」 Prof. Liang-Chun Chen(台湾国国家災害防救科技中心センター長、国立台湾大学教授) 10:15-10:30 休憩 10:30-12:00 東日本大震災研究報告 1. 「東日本大震災の地震動の特徴と道路・鉄道構造物の被害」 高橋 良和(京都大学大学院工学研究科 准教授) 2. 「大震災の教訓を生かした津波氾濫被害予測手法」 米山 望(京都大学防災研究所 准教授) 3. 「津波避難情報と避難行動」 矢守 克也(京都大学防災研究所 教授) 4. 「東日本大震災における情報共有とICT」 畑山 満則(京都大学防災研究所 准教授) 5. 「津波災害と災害廃棄物マネジメントについて」 平山 修久(京都大学大学院工学研究科 准教授) 6. 「都市・集落空間の形成履歴から今後を考える」 神吉 紀世子(京都大学大学院工学研究科 教授) 7. 「地震時の人的被害低減に向けて」 清野 純史(京都大学大学院工学研究科 教授) 第2部 基調講演「アジアにおける巨大災害からの復興」 司会: 多々納 裕一(京都大学防災研究所 教授) 13:30-15:00 1. 「東日本大震災を経験してのメッセージ」 菅原 茂(宮城県気仙沼市・市長) 2. 「TBA」 Mr. Hanif Arie (Deputy II of Head of Presidential Working Unit for Monitoring and Development Control of Republic Indonesia) 第3部 パネルディスカッション「新しい安全の質を考える」 15:30-17:00 司会: 多々納 裕一(京都大学防災研究所 教授) パネリスト: 齋藤 富雄(兵庫県 初代防災監) 宇恵 元昭(和歌山県 危機管理監) 菅原 茂(宮城県気仙沼市・市長) ショウ・ラジブ(京都大学大学院地球環境学堂 准教授) 閉会の挨拶 大津 宏康(京都大学大学院工学研究科 副研究科長)	定員: 250名 対象: 関連する研究者、学生及び一般向け 申込方法: 11月14日までに、ホームページ(http://hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp/11gcoehse/hpj/web_reg/index.html)よりお申し込み下さい。 ただし、定員に達した場合は応募を締め切ります。 参加料: 無料 問い合わせ先: 京都大学グローバルCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」 Tel: 075-383-3417 Fax: 075-383-3418 E-mail: 11gcoehse@hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp

京都大学シンポジウム シリーズ『大震災後を考える』-安全・安心な輝ける国づくりを目指して-

	開催日時、場所	主催	タイトル	プログラム	その他
19	平成23年11月5日(土) 13:30-16:40 京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホールⅢ	主催: 京都大学大学院地球環境学堂 共催: 京都大学グローバルCOEプログラム 「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」	シリーズⅧ 第11回京都大学地球環境フォーラム ～地域・学校を通じた防災コミュニケーション～	13:30～13:40 開会の挨拶 13:40～14:10 「学校防災と地域防災のつながり: 東日本大震災からの教訓」 14:10～14:40 「東日本大震災からの教育復興(ESD)と地域との絆」 14:40～14:50 休憩 14:50～15:20 「東日本大震災とやわらかい対口支援」 15:20～15:50 「大災害のリスクから命と生活を守る地域力とコミュニケーション力」 15:50～16:00 休憩 16:00～16:30 総合討論 16:30～16:40 閉会の挨拶 藤井滋穂(大学院地球環境学堂副学長) ショウ ラジブ(大学院地球環境学堂准教授) 及川幸彦(気仙沼市教育委員会学校教育課副参事兼指導主事) 永田素彦(大学院人間・環境学研究科准教授) 岡田憲夫(防災研究所教授) 司会: ショウ ラジブ(大学院地球環境学堂准教授) 越後信哉(大学院地球環境学堂准教授)	定員: 100名 申込方法: 参加希望者は「第11回地球環境フォーラム申込」と明記の上、ご氏名、ご所属(差し支えなければ)を事前に、メールまたはファックスでお送り下さい。 参加料: 無料 問い合わせ先: 京都大学地球環境フォーラム事務局(地球環境学堂) E-mail: forumsanka@ges.kyoto-u.ac.jp Fax: 075-753-9187
20	平成23年10月14日(日) 13:30-17:00 京都大学北部総合教育研究棟 1階益川ホール	主催: 京都大学大学院農学研究科寄附講座「食と農の安全・倫理論」	シリーズⅨ 第8回 食と農の安全・倫理シンポジウム 「食品の放射性物質汚染について考える」	開会挨拶 新山陽子(京都大学大学院農学研究科教授) 「原子力発電所の事故と今後の見通し(仮)」 小澤守(関西大学社会安全学部教授) 「放射性物質が健康に及ぼす影響」 明石真言(独立行政法人放射線医学総合研究所理事) 「消費者の不安とリスク認識 -リスクコミュニケーション結果より-」 新山陽子(京都大学大学院農学研究科教授)	対象: 一般向け 申込方法: 事前申し込み不要 参加料: 無料 問い合わせ先: 京都大学大学院農学研究科寄附講座 「食と農の安全・倫理論」 TEL/FAX: 075-753-6338,6339
21	平成24年3月8日(木) 13:00-17:00 京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール	主催: 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター(CAPS) 後援(予定): 近畿経済産業局 京都市 京都市 関西経済連合会 京都商工会議所 大阪商工会議所 中小企業基盤整備機構 京都府中小企業団体中央会 (社)京都経済同友会 京都経営者協会 (社)京都工業会復興庁 日本ベンチャー学会ほか	シリーズⅩⅩ 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター(CAPS)公開シンポジウム 「被災地復興のためのビジネスイノベーション～未来への挑戦～」	開会挨拶 松本紘(京都大学総長) 来賓挨拶 山田啓二(京都府知事(予定)) 長尾正彦(近畿経済産業局長) 問題提起 佐分利応貴(京都大学経済研究所准教授) 「被災地復興のためのビジネスイノベーション ～ AINAS(愛為す)の法則」 復興支援ビジネス事例報告 「被災地金融機関と協力したビジネスフェアの開催」 服部盛隆(池田泉州銀行 取締役頭取兼CEO) 「Yahoo! JAPANの東日本大震災への取り組み」 高田正行(ヤフー株式会社 R&D統括本部フロントエンド開発2本部開発4部部长(震災タスクフォース プロジェクトリーダー)) 「震災とものづくり中小企業ネットワーク」 深田稔(深中メッキ工業株式会社 代表取締役、認定特定非営利活動法人 地域産業おこしの会 副理事長) 「復興支援ビジネス・マッチングサイト紹介」 松田一敬(合同会社SARR代表執行社員) パネルディスカッション: 「未来への挑戦」 モデレーター 鈴木将覚(京都大学経済研究所准教授) パネラー 寺島英弥(河北新報社編集委員) 「被災地におけるマスメディアの役割」 竹井智宏(一般社団法人MAKOTO代表理事) 「被災地復興のためのビジネスマッチング」 奥村正明(株式会社ライフネス専務取締役) 「テレワークを活用した被災地就業支援(テレワーク1000プロジェクト)」 半谷栄寿(福島復興ソーラー株式会社社長) 「太陽光発電の仕事体験を通じた南相馬と全国の交流」 古谷知之(慶應義塾大学総合政策学部准教授) 「被災地復興における大学の役割」 田中秀一郎(大和証券投資信託委託株式会社商品企画部副部長) 「被災地復興ファンドの提案」 閉会挨拶 矢野誠(京都大学経済研究所長)	対象: 一般向け 申込方法: 1. HP (http://www.sarr-llc.com/caps/) より申し込み 2. FAX (075-315-8705) で申し込み ※冒頭に「京都大学CAPS公開シンポジウム参加申込」と明記し、 (1)氏名(ふりがな) (2)年齢 (3)電話番号、FAX番号、 メールアドレス (4)住所 (5)交流会参加の有無を記入 申込期限: 3月2日(金) 問い合わせ先: 京都大学CAPS公開シンポジウム事務局 TEL075-315-8838 FAX075-315-8705 E-Mail caps@sarr-llc.com(*を@に変えて下さい)